

平成26年 今年の10大ニュース

10面につづき

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、準備を着々と



▲皆さんのさまざまなご提案やアイデアをお聞きました

2020年東京オリンピック・パラリンピックにおいて、江東区は多くの競技が実施される大会の中心地となります。今年、開催記念イベント「聞かせて！あなたのオリンピック・パラリンピック」を計4回実施したほか、区民まつりの五輪ブースでも聞きとりを行い、1,200人以上の方々から、たくさんのご提案やアイデアをいただきました。また、開催後も持続的に発展していくために、「江東湾岸エリアにおける

オリンピック・パラリンピックまちづくり基本計画アウトライン」を策定。レガシー(遺産)を活かしたまちづくりを推進します。さらに水彩都市・江東の特色あるスポーツといえるカヌー競技で、区出身のパラリンピック選手を輩出するべく、地域と連携し選手育成の支援を行うなど、後世に残る素晴らしい大会にするため、着々と準備を進めています。



▲江東区出身のカヌー選手を支援し、2020年東京パラリンピックへの出場を目指します



▲アウトラインにおいて東京都に提案した、競技場の木構造採用(イメージ)

昭和大学江東豊洲病院 開院



▲院内は、木材をふんだんに用いるなど、区の特徴の一つである「木のまち」をイメージしたものとしています。区の重点プロジェクトとして整備を進めてきた「昭和大学江東豊洲病院」が3/24に開院しました。「女性と子どもにやさしい病院」として周産期医療や子どもセンターの充実を図るとともに、地域の中核となる病院として、二次救急医療や災害時における拠点病院としての役割を担っています。

平成26年を振り返って



江東区長 山崎 孝明

女性と子どもにやさしい病院として開院した「昭和大学江東豊洲病院」は、小児医療や周産期医療に大きく貢献し、誰もが安心して子どもを産み育てることができる環境を整えました。全国初となる「江東湾岸サテライト保育所」は、本園も分園も毎日子どもたちの笑顔で一杯です。区内各所では、まつりや盆踊り花火大会など盛んに行われ、江東区は活気にあふれ、大いに盛り上がりました。まつりをきっかけに、地域の交流も人のつながりも、より深まりました。身近で開催される2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けては、皆さんのアイデアや意見を直接伺うイベント「聞かせて！あなたのオリンピック・パラリンピック」を開催し、1,200人以上の方々から貴重なご意見をいただきました。必ず今後の参考にいたします。老人ホームの整備や、いつ起こるかも知れない自然災害への備えも着実に進めました。しかしまだまだ区政の課題は山積しています。今後も意欲とスピードと思いやりを忘れずに、より良い江東区にするために、熱意を持って区政に取り組んでまいります。

全国初！江東湾岸サテライト保育所を整備



▲専用のバスで、分園から本園へ送迎します

4月、全国初となる江東湾岸サテライト保育所を整備しました。この事業は、利便性の高い駅前等に分園を設置して子どもを受け入れ、2~5歳児については広いスペースが確保できる少し離れた本園までバスで送迎し、良好な環境のもと保育を行うものです。現在、第二弾として平成27年4月の開園に向け、「江東湾岸サテライトスマートナーサリースクール」の整備も進めており、都市部の地域の実情に合った待機児童対策を講じていきます。

区内のお店の魅力を発掘・発信



ことみせスタート

6月、「ことみせ」事業がスタートしました。地域経済活性化のため、日々独自の取材で区内のお店の魅力を引き出し、情報誌やホームページで発信しています。また、クーポンを利用すれば、どなたでもことみせに登録しているお店オリジナルの特典を受けることができます。現在情報誌「ことみせ」vol.4を配布中です(詳細は4面)。

▲クーポンを利用するだけでなく、登録店からさまざまなおもてなしを受けられます

お急ぎください

期限を過ぎると
給付辞退になります

臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金
2つの給付金コールセンター
☎(3647)4596

締切 1月14日(水)